

■浅井了意 出家して住職になった後、仮名草子を書き始め、質量ともに最大の作家となった。

あさいりょうい

キリスト教禁止・1612= この頃、摂津国三島江(高槻市)で、浄土真宗本照寺の住職の子に生まれる。

父が宗門より追放されたため、不遇のうちに育ちながらも、

徳川家康没・1616= 4歳：

利根川付替始1621= 9歳：

仏学・儒学・和学を修めて博覧強記ぶりを示すようになる。

寛永禁書令・1630=18歳：

徳川秀忠没・1632=20歳：

鎖国令V・・・1639=27歳：

この間、大坂に住んでいたが、

家光鎖国完成1641=29歳：

明滅亡・・・1644=32歳：この頃、京都に移住するとともに、_出家して二条菊本の正願寺に入る。法名が了意。

市中諸法度・1648=36歳：

徳川家光没・1651=39歳：

・・・1655=43歳：*「伊勢物語抒海」「太平記系図」の刊行後、

明暦の大火・1657=45歳：

_仮名草子の執筆を始め、

江戸城再建・1659=47歳：「堪忍記」に続いて「東海道名所記」を刊行。

・・・1660=48歳：「可笑記評判」「孝行物語」「三井寺物語」「葛城物語」、

清帝即位始・・・1661=49歳：「むさしあぶみ」「本朝女鑑」、

・・・1662=50歳：「江戸名所記」と、_続々刊行して第一人者の地位確立。全国的に盛名広まり、日本初の職業的作家となる。

殉死禁止・・・1663=51歳：この頃、「かなめいし」刊行。

・・・1664=52歳：「戒殺放生物語」、

諸宗寺院法度1665=53歳：「大倭二十四孝」。別に地誌「京雀」も刊行。

酒井忠清大老1666=54歳：「浮世物語」「曾呂里物語」。*仏教思想啓蒙のため、「伽婢子」刊行を端緒に怪談ものを書き始める。

足利学校再建1668=56歳：仏教書「阿弥陀経鼓吹」、

・・・1670=58歳：仏教書「無量寿経鼓吹」、

東西海運確立1672=60歳：「狂歌咄」、

・・・1674=62歳：仏教書「観無量寿経鼓吹」、

談林派俳諧・1675=63歳：

・・・1677=65歳：「源氏雲隠抄」、地誌「出来齋京土産」、

藤十郎登場・1678=66歳：「大原談義聞書鈔句解」、

徳川綱吉將軍1680=68歳：

護国寺・・・1681=69歳：この頃、*隠居し、実子に寺を譲る。

好色一代男・1682=70歳：「新語園」、

八百屋お七・1683=71歳：仏教書「仏説十王経直談」、

堀田正俊暗殺1684=72歳：

別子銅山始・1691=79歳：_没した。

翌年「狗張子」刊行されるが、不肖の子は、すぐに寺を売却してしまった。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、日本の古典名著、すずき出版「江戸怪談集」、